

日本共産党杉並区議会議員

週刊

こんにちは 山田耕平 です

2020.10.15 No.386

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺2-2-11

TEL 090-9973-0941

ホームページ

<http://yamadakohei.jp>

杉並区議会第3回定例会 決算特別委員会で明らかに...

コロナ禍なのに...都市計画道路が活発化

区議会第3回定例会・決算特別委員会で質疑に立ち、都市整備分野における都市計画道路整備の問題を取り上げました。

補助221号（環状七～中野区境） 測量実施、来年度事業認可申請

決算質疑では、新型コロナ禍のもとで区内各地の都市計画道路整備の動きが活発化していることが明らかとなりました。

補助221号線（環状七～中野区境：区施行）は区の「R2年度事務事業評価」においてR3年度の方針として「用地測量終了後、東京都に事業認可申請を行います」と示されています。質疑で、この点を確認すると、区は「来年度は用地測量。その後に事業認可の申請のための資料作りを進める」と答弁しました。また、中野区の再開発事業と併せて事業を進める方針が示されました。

補助74号（早稲田通り拡幅） 住民説明会未開催で測量実施

補助74号線（環状八～旧早稲田通り：都施工）においても都が測量作業に着手することが明らかとなりました。近隣住民に配布される資料では、新型コロナを理由として住民説明会を開催しないことが示されており、重大な問題です。質疑で住民説明会を開催するよう求めたところ、区長が答弁に立ち東京都の姿勢を批判。都に対して説明会の開催を強く求めると約束しました。

コロナ禍により大幅な税収減が見込まれるなか、道路整備に莫大な税金を投入することは重大な問題です。

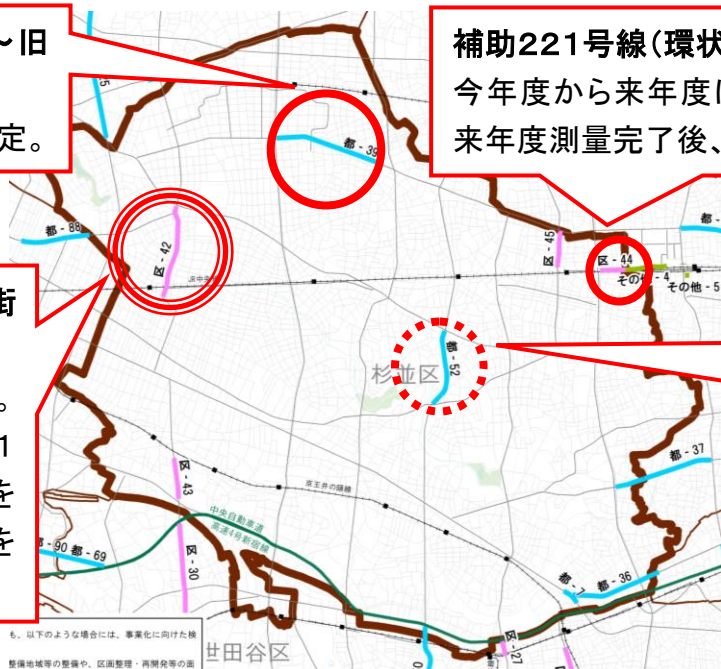
杉並区内の都市計画道路 現在の進捗状況

補助74号線（環状八～旧早稲田通り：都施行）
今年度から測量実施予定。

補助221号線（環状七～中野区境：区施行）
今年度から来年度にかけて測量実施予定。
来年度測量完了後、認可申請へ。

補助132号線（青梅街道～神明通り：区施行）
本年4月事業認可取得。
※11月10日、12日、13日、15日に地権者を対象とした用地説明会を開催予定。

補助133号線（中杉通り～五日市街道）
既に測量実施中。



- 測量が動き出す路線
- 既に測量を実施中の路線
- ◎ 事業認可された路線

も、以下のような場合には、事業化に向けた後
整備地域等の整備や、区画整理・再開発等の面

西荻窪駅北側横断歩道 今年度中に

視覚障害者の切実な願い実現

エスコートゾーン設置

今年度中に設置と答弁

区議会決算特別委員会では、西荻窪駅北側横断歩道へのエスコートゾーンの増設についても取り上げました。質疑に対し、区は「継続的に警視庁と協議、調整を進めた結果、今年度内に設置される予定」と答弁しました。長年の切実な願いが実現することになりました。



西荻窪駅北口交差点には設置されていない。

再三に亘る 要請が実現へ

この間、区内の視覚障害者の方々から、西荻窪駅北側のスクランブル交差点にエスコートゾーンを設置してほしいと要望が出されており、党区議団は2014年に区に申し入れを行ない、議会質疑でも設置促進を求め続けてきましたが「基準上難しい」との回答で、なかなか進んできませんでした。※詳細は週刊ニュース313号

2018年第3回定例会で改めて設置を求めたところ、同年1月に開かれた杉並区バリアフリー推進連絡会で、警視庁から「西荻窪駅北側の交差点のエスコートゾーン設置に向けて、いくつかある問題（スクランブル交差点の新設等）を本部交通規制課、交通管制課と実査検討した。これらを解決後、エスコートゾーンを設置する予定」と報告があったことが示されました。当時は設置時期については未定でしたが、今回の質疑で今年度を実現することが明らかとなりました。引き続き、視覚障害者の安全確保に向け力を尽くします。

■エスコートゾーンとは

エスコートゾーンとは、視覚障害者が横断歩道から外れることなく道路を横断できるように、横断歩道の中央部に点状の突起をつけたものです。杉並区では、52カ所の横断歩道に設置されています。



今週のコマ

3週間後には第4回定例会

第3回定例会が終了しました。今定例会は修正動議等も準備したため大変な苦勞をしましたが、3週間後には次の定例会が始まります。引き続き、頑張ります！

補正予算修正動議を提案

阿佐ヶ谷再開発に関わる予算の見直しを

日本共産党杉並区議団と奥山たえこ議員、賛成者・松尾ゆり議員は、補正予算（第7号）に対する修正動議を提案しました。※金子議員は提案者とならず、質問・賛成討論要員を担当。

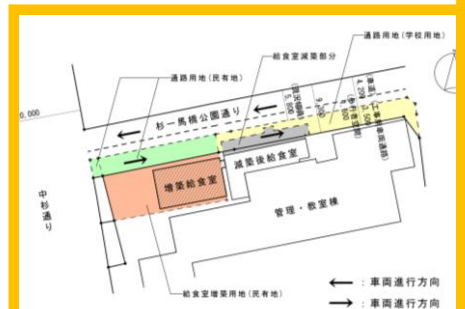
提案されている補正予算（第7号）には、新型コロナウイルス対策などの重要施策とともに、杉並第一小学校北側の工事車両用通路の暫定整備及び同校給食室の減増築工事に関する費用が計上されています。この事業は、阿佐ヶ谷駅北東地区再開発のために、学校敷地内を改修し、工事用車両を通過させるための工事となります（右下図）。

同再開発は、多くの地域住民が計画を知らないままであり、計画を知った住民のなかには、緑の保全、学校環境の変化、工事中の危険性等について、疑問の声が出されています。

住民の声を押し切る形で工事に着手することは問題です。

修正動議では、再開発に関わる工事費等について補正予算から削除するよう求めましたが、残念ながら賛成少数により否決されました。

引き続き、計画見直しを求め論戦に臨みます。



学校敷地内を工事車両が通過。